

2.12.12
1312

王子電氣

寫

社内
大坂神

王子電氣

要旨

手記
要旨
又規
折切

満足の美と速ゆり堅固法に感懐を感したる彼等は併金の障
壁となるであらう事を懼れ水滸君に永遠の生活不安の致錯大縛せ
んとすの陰謀が、ハミナしくも馬脚を表してあるがはなないか。
今も兄弟満君は男々しくも殺つておろす。
が、の急迫せぬ願を乞ふべき。
東京電氣自任会理事岡田大塚支那部は十二月四日緊急評議委員会を
開催し此の行状を録て中傷説話を擧げ見聞き因志打に此後天
公の心術態度を鑑みばし心勝を期して兄弟満君の合議を要す
を各派能為支持するものがある。
右決議す
昭和二年十二月

東京電氣自任会
大塚支那部評議委員会

王子電氣従業員は沿線住民諸君の
日常生活に密接の利害關係を持つ
交通機關の社會的使命達成のため
王電會社當局に對して左の嘆願を
したのであります。
一、舊式單車を廢止して新たに會
社が購入し現在車庫に格納して
あるボギー車と取替して下さい。
二、従業員を監督する監督者の採
用に就いては今後従業員中の最
も會社の事情に通じ事業に熟練
した者を採用して下さい。
三、従業員の被服貸與が二ヶ年に
一着では破れたり汚れたりして乗
客に不快の感を與へますから一
年一着を貸與して下さい。
四、信號手は車掌運轉手と同様に
一ヶ月皆勤したならば精勤賞を
支給して下さい。
以上は王電全従業員の切實なる希
望でありましたので代表者を以て
會社に嘆願しました處會社はこの
嘆願に對して返事もせずしかもそ
の代表者拾名に對して何等の理由
を示さずして去る十二月一日突然
會社に呼び付け拒絶や強奪を持
つた暴行團體の中で被害を申
し渡したのであります。
私等はこの理由のない不當被害に
對して會社に交渉を求めますし又

その後會社は二百名の夫を雇
入れ本社樓上に寄宿せしめて毎日
従業員を脅迫して居ります。
更に即日都下の新聞に廣告して元
電車乗務員として経験のある人
を募集して約三百名近く車掌や運
轉手に採用したので此れは云ふ
迄も無く私達の代表者達を不當に
蹴きつたり、暴力團の雇入れて、
私達に不安を感じさせて、何等か
の防衛手段を講じたら私達全員を
蹴首して、安い賃銀で雇入れた人
と取り換へようとの手段であるこ
とは明らかです。
私等従業員はこの鬼の様な會社の
仕打ちに對しても交通機關の重要
なる使命を考慮して、眞面目に運
轉して居ります。一方更にこの不
當解雇の取消方を去る十二月三日
會社に嘆願しました處會社は十二
月六日その返事をする然し一度蹴
首したものは誰れが何んと云つて
も使用しない。
公共事業だとか親切本位に乘客を
顧慮しろとか世間の人は云ふが世
間には廣い王電は營利會社だ。乘客
に親切本位にすれば賃銀もかかる
設備費も要るのだ、一々そんな希
望は入れないで強硬して居るので

りますが毎日電車に乗つて頂く
お客様の賃金に依つて生活して居る
のです。會社の重役等の莫大な給
料やボーナスも亦乘客諸君の零細
な電車賃から搾りとつたものであ
ります従つて私等は、會社が暴力
團を多數雇入れて如何に強硬に壓
迫しようとも他くまで乘客本位。
親切第一。安全主義の下に事業に
従事する覺悟であります。
そうして乘客諸君並に沿線住民諸
君の御同情と御聲援によりこの電
鐵事業の社會的使命を全然無視し
たこの我利一点張りの重役等に
一日も早く反省悔悟する様にした
と思ひます更に私等は會社が最近
東京電燈會社と東京電力會社の電
力供給の競争の渦中に捲きこま
れ毎日重役共が暗闘して居ります
その結果、電燈の暗いこと、危険
設備の多い事、電燈料金の高い事
設備不完全から来る毎日の停電等
に對しても飽くまで沿線住民諸君
の共通利害の立場から闘ふ事を電
ふものであります茲に真相を住民
諸君に發表すると共に私達従業員
の体面を公正な批判に訴へ併せて